

上 田 地 域

循環型社会形成推進地域計画

上田市

東御市

青木村

長和町

上田地域広域連合

改訂	令和2年11月
改訂	令和3年7月
改訂	令和4年1月
改訂	令和4年12月

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項……………	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標……………	4
3	施策の内容……………	11
4	計画のフォローアップと事後評価……………	19

【添付資料】

- ・ 様式 1
- ・ 様式 2
- ・ 様式 3
- ・ その他参考資料

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

◇ 構成市町村名	: 上田市、東御市、青木村、長和町								
◇ 面積	: 905.37 km ²								
	<table border="1"><tr><td>上田市</td><td>: 552.04 km²</td></tr><tr><td>東御市</td><td>: 112.37 km²</td></tr><tr><td>青木村</td><td>: 57.10 km²</td></tr><tr><td>長和町</td><td>: 183.86 km²</td></tr></table>	上田市	: 552.04 km ²	東御市	: 112.37 km ²	青木村	: 57.10 km ²	長和町	: 183.86 km ²
上田市	: 552.04 km ²								
東御市	: 112.37 km ²								
青木村	: 57.10 km ²								
長和町	: 183.86 km ²								
◇ 人口	: 197,648人 (計画収集人口: 令和元年10月)								
	<table border="1"><tr><td>上田市</td><td>: 157,143人</td></tr><tr><td>東御市</td><td>: 30,112人</td></tr><tr><td>青木村</td><td>: 4,376人</td></tr><tr><td>長和町</td><td>: 6,017人</td></tr></table>	上田市	: 157,143人	東御市	: 30,112人	青木村	: 4,376人	長和町	: 6,017人
上田市	: 157,143人								
東御市	: 30,112人								
青木村	: 4,376人								
長和町	: 6,017人								



図 1.1 対象地域図

(2) 計画期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とします。

また、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとします。

なお、本計画の記載対象は、廃棄物処理関係とし、合併浄化槽関係については、今後も各市町村の生活排水処理基本計画をもって、地域計画に代わるものとして取り扱います。

(3) 基本的な方向

対象地域は、長野県の東北部に位置し、北は上信越高原国立公園の菅平高原、湯の丸高原、南は八ヶ岳中信高原国立公園の美ヶ原等の山々や高原に囲まれています。

このような自然環境に恵まれた地域であることから、本計画では地域からごみをできるだけ出さない意識を高め、ごみ減量に向けた取組を推進していくことを前提に、環境に配慮した統合クリーンセンター（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の整備を進めます。

とくに、現状の3つの焼却施設、上田クリーンセンター（施設規模：200 t/日）、丸子クリーンセンター（施設規模：40 t/日）、東部クリーンセンター（施設規模：30 t/日）の合計施設規模270 t/日を本計画の統合クリーンセンター（エネルギー回収型廃棄物処理施設）では144 t/日まで削減し、必要最小限とすることから、ごみの減量については積極的な取組を進めます。

ごみ減量に向けた取組

- ◇ 大前提 → ごみをできるだけ出さない意識を高める。
- ◇ 紙、布類の資源化の推進
- ◇ 厨芥類（生ごみ）の自己処理及び資源化の推進
- ◇ 剪定枝の資源化の推進

(4) ごみ処理の広域化、施設の集約化の検討状況

長野県では、平成31年3月29日付け環境省通知「持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について（通知）」に基づき、県、市町村、広域連合、一部事務組合で今後の広域化・集約化に関する広域化ブロック区割り及び各ブロックにおける処理体制について検討を行っています。

上田地域広域連合では、平成 11 年 3 月に「上田地域広域連合ごみ処理広域化計画」を策定し、上田市、東御市、青木村、長和町を処理区域として現存する 3 つの焼却施設を 1 つに統合する整備方針を定めました。現在、その整備方針に基づき、統合クリーンセンター建設に向け、建設候補地周辺の住民と協議を進めています。

(5) プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

住民がプラスチック使用製品の使用を合理化し、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するよう、広報紙やホームページ等を活用し、啓発していきます。

従来、各市町村では、プラスチックごみは可燃ごみではなく、資源ごみや不燃ごみとして分別収集を行っております。また、回収されたプラマーク付きプラスチックごみについては、中間処理施設において選別や圧縮等された後、民間事業者によりマテリアルリサイクル等されています。プラマーク付き以外のプラスチックごみについても、中間処理施設で選別・圧縮等された後、民間事業者により、主にサーマルリサイクルされています。

今後について、当面の間現状の収集方法を継続していく予定です。再商品化については、各市町村においてコストや環境影響等の情報収集を行うとともに、市町村毎の状況を踏まえながら実施方法や時期について検討を行っていきます。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

令和元年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 2.1 のとおりです。
 なお、各焼却施設で焼却処理していますが、全連続炉である上田クリーンセンターでは、余熱利用（場内での温水利用）をしています。

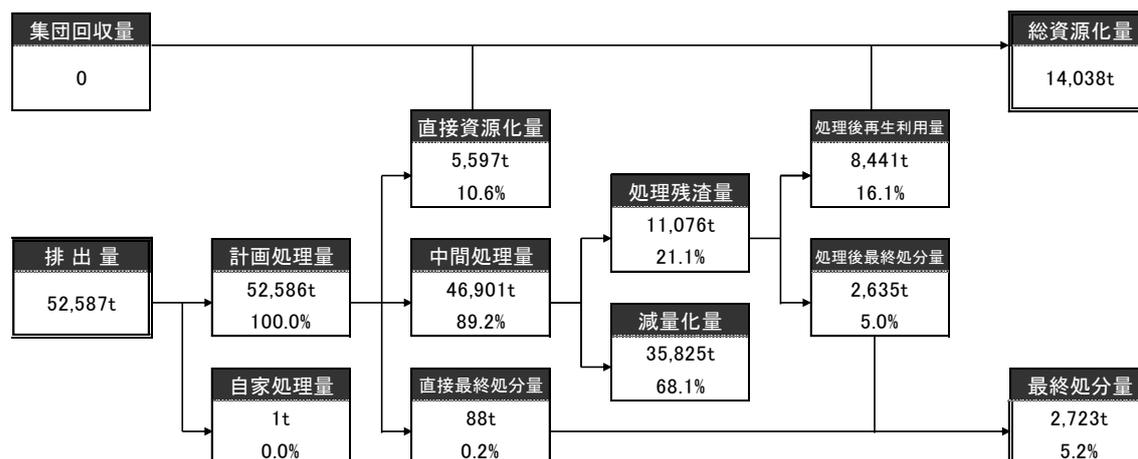


図 2.1 一般廃棄物の処理状況フロー（令和元年度）

(2) 生活排水の処理の現状

令和元年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥の排出量は図 2.2 のとおりである。

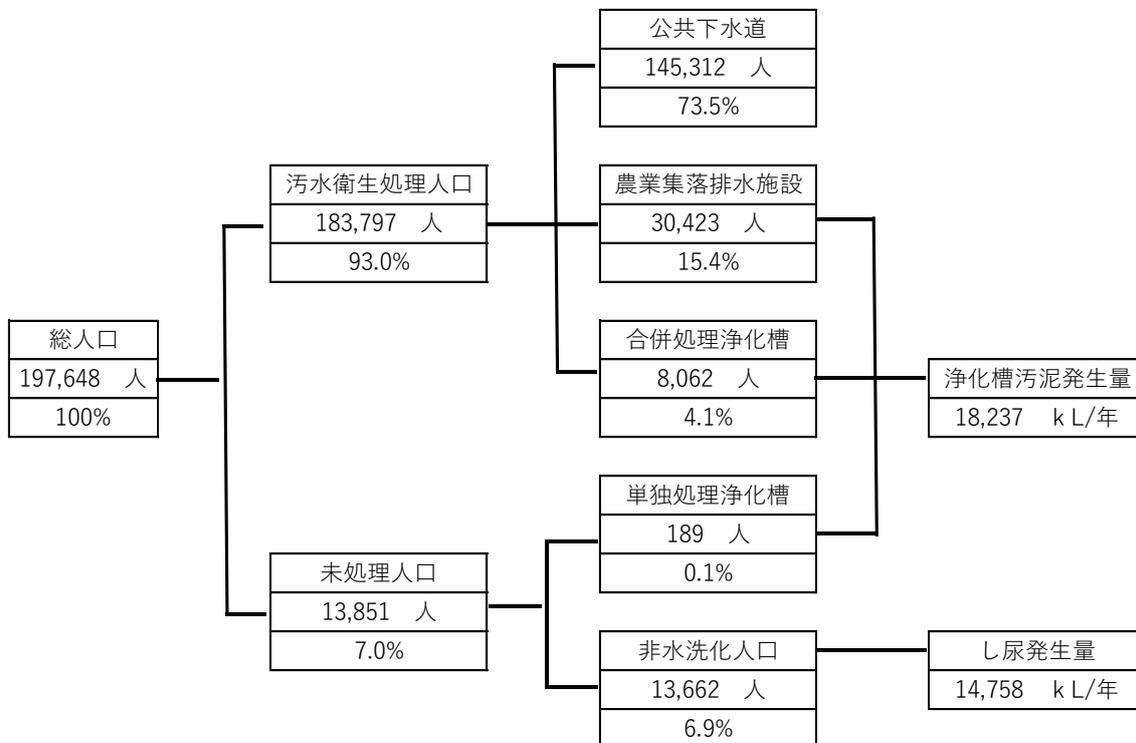


図 2.2 生活排水の処理状況フロー（令和元年度）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中において、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現をめざし、表 2.1 及び図 2.3 のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組みます。

表 2.1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合※1) (令和元年度)	目 標 (割合※1) (令和8年度)
排 出 量	事業系 総排出量	13,506 t	11,414 t (R1比 -15.5%)
	1事業所当たりの排出量	1.4 t/事業所	1.2 t/事業所 (R1比 -14.3%)
	生活系 総排出量	39,081 t	36,202 t (R1比 -7.4%)
	1人当たりの排出量	151.4 kg/人	150.2 kg/人 (R1比 -0.8%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	52,587 t	47,616 t (R1比 -9.5%)
再生利用量	直接資源化量	5,597 t (10.6%)	4,895 t (10.3%)
	総資源化量	14,038 t (26.7%)	13,395 t (28.1%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	—	検討中
最終処分量	埋立最終処分量	2,723 t (5.2%)	2,199 t (4.6%)

- ※ 1: 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合
- ※ 2: 1事業所当たりの排出量 = {(事業系ごみ(直搬ごみ)のうち許可・事業者排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)
- ※ 3: (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《用語の定義》

排出量 : 事業系、生活系を問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)[単位:トン]

総資源化量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位:トン]

エネルギー回収量 : エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量[単位:Mwh]及び熱利用量[単位:GJ]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残さ量の差[単位:トン]

最終処分量 : 埋立処分された量[単位:トン]

表2.1補足 市町村ごとの減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合※1) (令和元年度)	目 標 (割合※1) (令和8年度)
上田市	事業系 総排出量	12,524 t	10,529 t (R1比 -15.9%)
	1事業所当たりの排出量	1.6 t/事業所	1.4 t/事業所 (R1比 -12.5%)
	生活系 総排出量	31,516 t	29,429 t (R1比 -6.6%)
	1人当たりの排出量	155.2 kg/人	155.0 kg/人 (R1比 -0.1%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	44,040 t	39,958 t (R1比 -9.3%)
	直接資源化量	4,117 t (9.3%)	3,623 t (9.1%)
	総資源化量	11,493 t (26.1%)	10,995 t (27.5%)
埋立最終処分量	1,965 t (4.5%)	1,555 t (3.9%)	
東御市	事業系 総排出量	738 t	668 t (R1比 -9.5%)
	1事業所当たりの排出量	0.52 t/事業所	0.47 t/事業所 (R1比 -9.6%)
	生活系 総排出量	5,104 t	4,511 t (R1比 -11.6%)
	1人当たりの排出量	124.8 kg/人	118.4 kg/人 (R1比 -5.1%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	5,842 t	5,179 t (R1比 -11.3%)
	直接資源化量	1,345 t (23.0%)	1,152 t (22.2%)
	総資源化量	1,611 t (27.6%)	1,502 t (29.0%)
埋立最終処分量	543 t (9.3%)	477 t (9.2%)	
青木村	事業系 総排出量	167 t	149 t (R1比 -10.8%)
	1事業所当たりの排出量	0.9 t/事業所	0.8 t/事業所 (R1比 -11.1%)
	生活系 総排出量	947 t	921 t (R1比 -2.7%)
	1人当たりの排出量	185.6 kg/人	198.6 kg/人 (R1比 7.0%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	1,114 t	1,070 t (R1比 -3.9%)
	直接資源化量	135 t (12.1%)	120 t (11.2%)
	総資源化量	385 t (34.6%)	390 t (36.4%)
埋立最終処分量	105 t (9.4%)	82 t (7.6%)	
長和町	事業系 総排出量	77 t	68 t (R1比 -11.7%)
	1事業所当たりの排出量	0.21 t/事業所	0.18 t/事業所 (R1比 -14.3%)
	生活系 総排出量	1,514 t	1,341 t (R1比 -11.5%)
	1人当たりの排出量	160.2 kg/人	149.5 kg/人 (R1比 -6.8%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	1,591 t	1,409 t (R1比 -11.5%)
	直接資源化量	0 t (0.0%)	0 t (0.0%)
	総資源化量	549 t (34.5%)	508 t (36.1%)
埋立最終処分量	110 t (6.9%)	85 t (6.0%)	

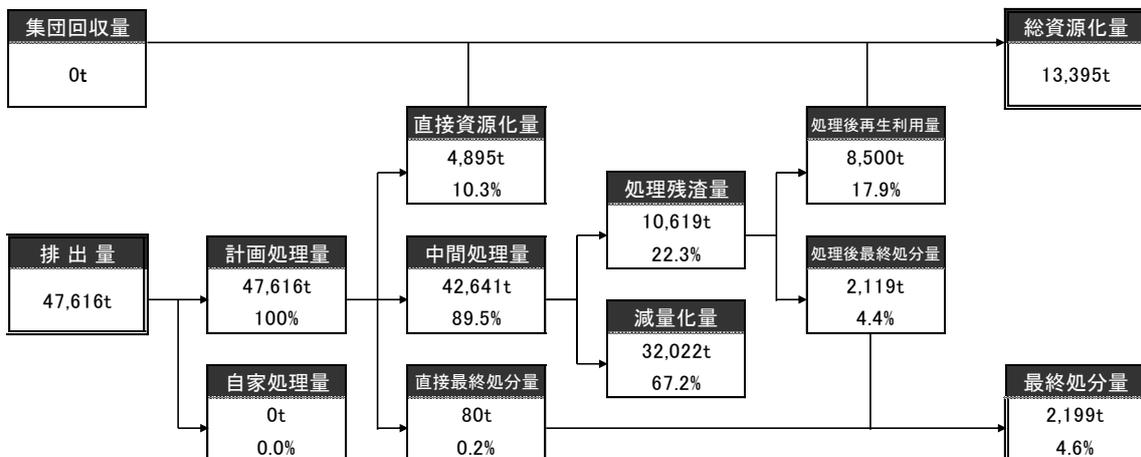


図 2.3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和8年度）

(4) 生活排水処理の目標

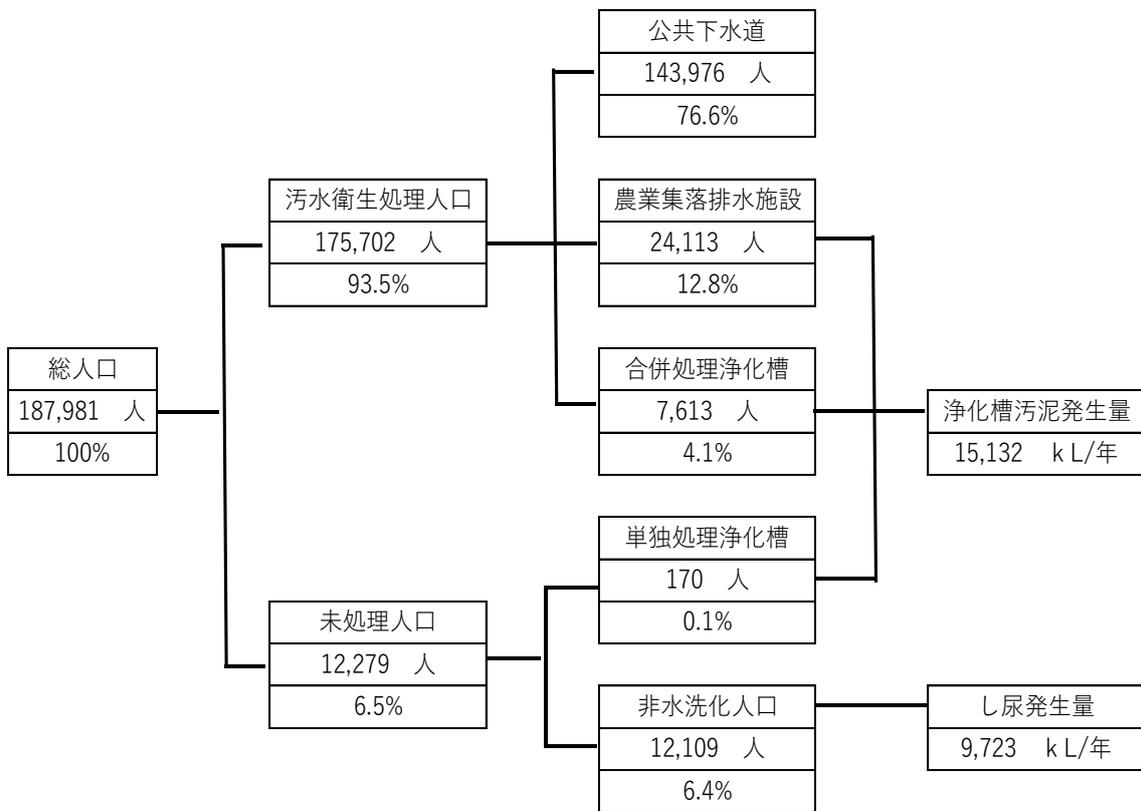
生活排水処理については、表 2.2 に掲げる目標のとおり、下水道区域の拡張と接続率の向上及び合併処理浄化槽の普及促進を図るものとする。

表 2.2 生活排水処理に関する現状と目標

		現状（令和元年度）		目標（令和8年度）	
処理形態別人口	公共下水道	145,312 人	(73.5%)	143,976 人	(76.6%)
	農業集落排水施設	30,423 人	(15.4%)	24,113 人	(12.8%)
	合併処理浄化槽	8,062 人	(4.1%)	7,613 人	(4.1%)
	未処理人口	13,851 人	(7.0%)	12,279 人	(6.5%)
	合計	197,648 人		187,981 人	
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	14,758 キロリットル		9,723 キロリットル	
	浄化槽汚泥量	18,237 キロリットル		15,132 キロリットル	
	合計	32,995 キロリットル		24,855 キロリットル	

表2.2補足 市町村ごとの生活排水処理に関する現状と目標

			現状（令和元年度）	目標（令和8年度）
上田市	処理形態別人口	公共下水道	117,428 人 (74.7%)	117,839 人 (78.6%)
		農業集落排水	23,942 人 (15.2%)	17,945 人 (12.0%)
		合併処理浄化槽	4,878 人 (3.1%)	4,644 人 (3.1%)
		未処理人口	10,895 人 (7.0%)	9,502 人 (6.3%)
		合計	157,143 人	149,930 人
	し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	10,083 キロリットル	5,982 キロリットル
		浄化槽汚泥量	14,724 キロリットル	11,807 キロリットル
東御市	処理形態別人口	公共下水道	18,804 人 (62.4%)	17,895 人 (62.5%)
		農業集落排水	6,481 人 (21.5%)	6,168 人 (21.5%)
		合併処理浄化槽	2,445 人 (8.1%)	2,327 人 (8.1%)
		未処理人口	2,382 人 (8.0%)	2,266 人 (7.9%)
		合計	30,112 人	28,656 人
	し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,458 キロリットル	2,339 キロリットル
		浄化槽汚泥量	3,162 キロリットル	3,009 キロリットル
長和町	処理形態別人口	公共下水道	5,278 人 (87.7%)	4,682 人 (87.7%)
		農業集落排水	0 人 (0%)	0 人 (0%)
		合併処理浄化槽	484 人 (8.0%)	411 人 (7.7%)
		未処理人口	255 人 (4.3%)	247 人 (4.6%)
		合計	6,017 人	5,340 人
	し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	1,534 キロリットル	749 キロリットル
		浄化槽汚泥量	247 キロリットル	274 キロリットル
青木村	処理形態別人口	公共下水道	3,802 人 (86.9%)	3,560 人 (87.8%)
		農業集落排水	0 人 (0%)	0 人 (0%)
		合併処理浄化槽	255 人 (5.8%)	231 人 (5.7%)
		未処理人口	319 人 (7.3%)	264 人 (6.5%)
		合計	4,376 人	4,055 人
	し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	683 キロリットル	653 キロリットル
		浄化槽汚泥量	104 キロリットル	42 キロリットル



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

図 2.4 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和 8 年度）

3 施策の内容

(1) 発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）再生利用（リサイクル）の推進

ア 紙、布類の資源化の推進

「新聞紙」、「ちらし」、「雑誌」、「紙パック」、「段ボール」、「雑紙」について資源回収を行います。特に「雑紙」については、分別排出の徹底を図り、資源として取り扱うことで可燃ごみ量の削減に努めます。

一方、事業系の紙ごみについては、クリーンセンター（焼却施設）への搬入制限を行うとともに、中小事業者の古紙回収率向上のため、事業者が自主的に取り組む資源化を支援・促進します。

また、古布については、今後も古着としての再利用、ウエスなどの工業利用が期待できることから、古着業界や自主回収に取り組んでいる市民グループなどと連携しながら再使用や再生利用ルートの確立を図ります。

イ 生ごみの堆肥化等の推進

生活系の生ごみについては、発生抑制（エコクッキング、水切りの呼びかけ）を推進するとともに、家庭用生ごみ処理機器に対する購入補助を継続して実施します。

また、東御市、長和町では、生活系生ごみの堆肥化施設が既に稼働中であり、さらに上田市においても「生ごみリサイクル推進プラン」（令和2年8月策定）により、生ごみリサイクルシステムの構築に向けて、生活系生ごみの堆肥化施設整備の計画を進めています。

各市町村が生ごみの削減に向け、それぞれの市町村の事情に応じた減量化を推進します。

事業系の生ごみについては、食品リサイクル法の普及啓発を進め、具体的な取組事例や資源化ルートの紹介などの情報提供により事業者の自主的な取組を促進します。

ウ 剪定枝の資源化の推進

可燃ごみの中で、生ごみ、紙・布類に次いで木類の占める割合も多く、その内訳は家庭や事業者から排出される剪定枝や刈草です。

これらを資源化するために、本地域でチップ化などを行っている民間施設を活用し、燃料や土壌改良材として有効利用を促進します。

エ マイバック運動・レジ袋対策

長野県が取り組んでいる「信州プラスチックスマート運動」に賛同し、店舗や関係団体と協力し、マイバックの持参・レジ袋の削減に取り組めます。

オ 環境教育、普及啓発

環境教育については、上田地域内のごみ処理の実態やごみ減量化への取組などを広く住民の皆様にご覧いただくため、施設見学の受け入れや出前講座等を通じて実施します。

また、普及啓発については、関係市町村及び広域連合の広報紙、ホームページ等を活用し、3Rへの取組を啓発します。

カ 有料化

現在、事業系ごみについては、全市町村で一定の排出量までは定額とし、一定の排出量を超えると排出量に応じて一定の手数料を負担する定額制従量制併用型にて課金し、直接納入方式により処理料金を徴収しています。

一方、生活系ごみについては、全市町村で指定袋を媒体とした均一従量制により課金し、小売店前納方式により、処理料金を徴収しています。

(2) 処理体制

ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法は、表 3.1 のとおりです。

現状各市町村では、ごみ減量施策として資源ごみの分別回収等を実施しています。独自の取組として東御市及び長和町では、生ごみ堆肥化施設が稼働したことにより生ごみの分別収集をしています。今後は、上田市においても、令和 7 年度稼働を目標に、生ごみ資源化施設の建設を計画しており、自己処理困難な地域を対象に生ごみを特別に分別収集し資源利用を進めます。

可燃ごみの分別区分については、各市町村で統一が図れており、令和 10 年度を目標としている統合クリーンセンター稼働後も現行の分別区分を継続します。ただし、環境への影響の少ないコンパクトな施設とするため、より一層の減量化・資源化を推進します。

また、不燃ごみ・粗大ごみについては、上田地域において、統合処理ではなく分離・分散にて処理していく方針としており、各市町村でより資源化・減量化の図れる分別区分を設定します。

最終処分については、上田市及び東御市の最終処分場の残余容量が少なく、そのほとんどを民間へ委託処分しているのが現状です。今後は、上田地域内での処理処分を基本とし、上田地域で最終処分場を建設します。

イ 事業系ごみ処理体制の現状と今後

事業系ごみに関しては、生活系ごみの分別区分に準じ、広域連合の施設で受け入れ、処理を行います。

今後は、事業系ごみの排出状況を定期的に調査し、多量に排出する事業者に対しては、事業所における事業系ごみの減量、処理に関する計画を作成し、計画を実施していくように指導し、事業系ごみの排出抑制、減量を進めます。

ウ 生活排水処理の現状と今後

し尿及び浄化槽汚泥等（以下「し尿等」という。）は、清浄園（し尿処理施設）等で処理しています。清浄園は、平成 9 年に施設の全面更新を行って以降 23 年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいます。

また、し尿等の処理量は、年々減少し施設の処理能力が過大となっています。

このような状況から、関係市町村との協議、検討した結果、清浄園を廃止し、今後のし尿等の処理については、各市町村の責任において処理することが決まりました。上田市以外の市町村については、既に他施設で処理しており、清浄園を利用しているのは上田市のみとなっています。上田市においては、令和 7 年度を目標に「し尿前処理下水道投入施設」を整備し、下水との一体的な処理を計画し

ています。

なお、合併浄化槽関係については、今後も各市町村の生活排水処理基本計画をもって、地域計画に代わるものとして取り扱います。

表 3.1 上田地域各市町村の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (R1年度)				今 後 (R8年度)					
上田地域広域連合 (上田市・東御市・青木村・長和町)				上田地域広域連合 (上田市・東御市・青木村・長和町)					
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理計画 (トン)	
						一次処理	二次処理		
可燃ごみ	焼却	上田クリーンセンター 丸子クリーンセンター 東部クリーンセンター	26,139	可燃ごみ	焼却 (熱回収)	発電	上田クリーンセンター 丸子クリーンセンター 東部クリーンセンター (新統合クリーンセンター建 設中)	上田市下室賀最終処分場 広域連合最終処分場 (新設) 東御市一般廃棄物最終処分場 民間処理委託	24,205
不燃ごみ ・ 粗大ごみ	破碎・選別	上田市不燃物処理資源化施設 東御市不燃物処理施設 川西不燃物処理施設 川西粗大ごみ処分施設 民間処理委託	3,437	不燃ごみ ・ 粗大ごみ	破碎・選別 ・ 圧縮・修理・加工		上田市不燃物処理資源化施設 東御市不燃物処理施設 民間処理委託		2,942
生ごみ	堆肥化	長和町生ごみ堆肥化施設	70	生ごみ	堆肥化		長和町生ごみ堆肥化施設		70
	堆肥化	東御市生ごみ堆肥化施設	337				東御市生ごみリサイクル施設		490
							上田市生ごみリサイクル施設		700
剪定枝	リサイクル	民間処理委託	9,097	剪定枝	リサイクル	チップ化	各市町村直接資源化 民間処理委託	7,795	
資源ごみ				プラスチック		再資源化			
				ペットボトル					
				紙・布類					
				びん					
				缶					
有害ごみ									

(3) 処理施設の整備

前記(表 3.1)の分別区分及び処理体制で処理するため、表 3.2 のとおり必要な施設整備を行います。

表 3.2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靱化
1	ごみ焼却施設 統合クリーンセンター	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業	144 t/日	上田地域内	R7～ 【R10】	上田市国土強靱化地域計画
2	ごみ堆肥化施設 上田市有機物リサイクル施設	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備事業	7.4 t/日	上田市内	R6～R7	—
3	最終処分場 最終処分場	上田地域最終処分場整備事業	85,000 m ³	上田地域内	【R8】～ 【R10】	—

(整備理由)

事業番号 1：既存施設の老朽化、焼却処理の集約、エネルギーの高効率回収・有効利用の促進

事業番号 2：生ごみのリサイクル推進施設の整備

事業番号 3：既存施設の残存量減少による、新たな最終処分場の整備

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 3.3 のとおり計画支援事業を行います。

表 3.3 実施する計画支援業務

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（事業番号 1）に係る環境影響評価事業	長野県環境影響評価条例の規定による環境影響評価	R2～R5
	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（事業番号 1）に係る施設基本計画策定事業	施設基本計画	R3～R4
	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（事業番号 1）に係る測量・地質調査事業	地形・地質調査等	R2～R4
	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（事業番号 1）に係る事業方式選定事業	PFI 等の事業方式の検討	R4
	上田地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（事業番号 1）に係る発注準備・入札支援事業	事業者選定アドバイザー	R6～R7
2	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る測量調査事業	地形測量、用地測量	R3～R4
	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る基本設計事業	施設基本設計、PFI 等導入可能性調査	R3～R4
	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	R3～R4
	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る地質調査事業	地質調査	R4
	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る要求水準書案作成事業	要求水準書案作成	R4
	上田市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備（事業番号 2）に係る発注準備・入札支援事業	事業者選定アドバイザー	R5～R6

3	上田地域 最終処分場整備 (事業番号3)に係る基本構想策定事業	基本構想	R4
	上田地域 最終処分場整備 (事業番号3)に係る測量・地質調査事業	測量・地質調査	R6
	上田地域 最終処分場整備 (事業番号3)に係る適地選定事業	建設候補地の選定	R5
	上田地域 最終処分場整備 (事業番号3)に係る基本設計・詳細設計等事業	基本設計及び詳細設計	R6~R7
	上田地域 最終処分場整備 (事業番号3)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査事業	R6

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会形成のため、以下の施策を実施していきます。

ア 不法投棄対策

廃棄物の不法投棄対策は、広域連合及び市町村のホームページや広報紙等を用いて、不法投棄及び不適正処理の対策をPRしていくとともに、不法投棄されやすい山間部の林道等のパトロールを強化し、上田地域振興局、長野県不法投棄監視連絡員、地域の環境美化監視員や廃棄物減量等推進員、警察署等の関係機関とのさらなる連携や地元自治会の協力を得ながら、不法投棄がしにくい環境づくりを目指します。

イ 災害時の廃棄物処理に関する事項

上田市については、策定した災害廃棄物処理計画に基づき災害廃棄物の処理を行います。なお、災害発生時の備えとして、複数の仮置き場候補地を選定しています。

東御市については、長野県災害廃棄物処理計画等と整合をとりながら、令和4年度に策定予定です。

長和町については、長野県災害廃棄物処理計画等と整合をとりながら、令和4年度に策定予定です。

青木村については、長野県災害廃棄物処理計画等と整合をとりながら、令和4年度に策定予定です。

災害時には、市町村が策定した地域防災計画や災害廃棄物処理計画を踏まえて、他の広域ブロックのごみ処理施設と連携を図りながら、災害時に発生する廃棄物の広域的な処理体制の確保に努めます。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、地域を構成する市町村、国及び長野県と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行います。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で速やかに計画の事後評価、目標達成度の評価を行います。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画に反映させます。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとします。

様式 1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 1

1 地域の概要

(1) 地域名	上田地域	(2) 地域内人口	197,648	(3) 地域面積	905.37km ²
(4) 構成市町村等名	上田市、東御市、青木村、長和町、上田地域広域連合	(5) 地域の要件*	人口() 面積() 沖縄 離島 奄美() 豪雪() 山村() 半島() 過疎() その他()		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	広域連合を構成する市町村：上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町 設立年月日：平成10年4月1日設立 ※坂城町は本計画の対象外				

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 年		過去の状況・現状(排出量等に対する割合)						目標
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和8年度
排出量	事業系 総排出量(トン)	12,904	12,694	13,073	12,855	12,998	13,506	11,414
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.4	1.2
	生活系 総排出量(トン)	43,830	43,016	41,462	40,169	39,025	39,081	36,202
	1人当たりの排出量(kg/人)	155.6	155.8	152.6	150.5	148.0	151.4	150.2
合計	事業系生活系の総排出量合計(トン)	56,734	55,710	54,535	53,024	52,023	52,587	47,616
再生利用量	直接資源化量(トン)	8,471	7,852	7,082	6,376	5,929	5,597	4,895
	総資源化量(トン)	15,787	16,020	15,062	14,762	14,362	14,038	13,395
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量 MWH)							検討中
	エネルギー回収量 (年間の熱利用量 GJ)							
減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	37,363	37,021	36,593	35,478	35,100	35,825	
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	3,584	2,769	2,880	2,783	2,560	2,723	2,199

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
エネルギー回収型 廃棄物処理施設	上田クリーンセンター	上田地域広域連合	全連続式	200t/日	S61.4	未定	未定	浸水想定:5m~10m 対策⇒プラットフォームのレベルを浸水水位以上としている	
	丸子クリーンセンター		准連続燃焼式	40t/日	H4.3			浸水想定:0.5m~3m 対策⇒重要機器が存在する部屋を浸水水位以上としている	
	東部クリーンセンター		機械化パッチ式	30t/日	H5.8			浸水想定:5m~10m 対策⇒灰ビットを浸水水位以上としている	
マテリアルリサイクル 推進施設	上田市不燃物処理施設	上田市	選別・資源化方式	20t/5h	S60.3			浸水想定:5m~10m 対策⇒施設被災時は広域連携によるごみ処理の継続と、設備の早急な復旧を図る	
	東御市不燃物処理施設	東御市		10t/5h	S53.11			浸水想定:5m~10m 対策⇒施設被災時は広域連携によるごみ処理の継続と設備の早急な復旧を図る	
有機性廃棄物リサイクル 推進施設(生 ごみ堆肥化施設)	東御市生ごみリサイクル施設	東御市	密閉型発酵・通気 性堆肥方式	876.5t/年	H30.2			浸水想定:5m~10m 対策⇒・高圧受電盤は1段高い位置に設置。 1階部分は漏電ブレーカー設置。 製品は2階に保管。 ・施設被災時は広域連携によるごみ処理 の継続と、設備の早急な復旧を図る。	
	長和町生ごみ堆肥 化処理施設	長和町		250t/年	H24.4			浸水想定外	
最終処分場	上田市下室賀最終 処分場	上田市	管理型処分場	99,930㎡	H8.4			浸水想定外	
	東御市一般廃棄物 最終処分場	東御市		23,786㎡	H8.2			浸水想定:10m~20m 対策⇒・中層監視室を2階に設置 ・施設被災時は広域連携による埋め立て処 理の継続と、施設の早期復旧を図る	
	長和町一般廃棄物 処分場	長和町	安定型処分場	25,320㎡	S61.10			浸水想定:0.5m~3m 対策⇒施設被災時は広域連携による埋め立て処理 の継続と施設の早急な復旧を図る	
	長和町唐沢山危険 物処理場			6,636㎡	S51.10			浸水想定外	
有機性廃棄物リサイクル 推進施設(し 尿処理施設)	清浄園	上田地域広域連合	標準脱窒素処理方 式+高度処理	280kl/日	H9.12			浸水想定:5m~10m 対策⇒施設被災時は広域連携によるし尿処理継続 と設備の早急な復旧を図る	各市町村でのし尿、浄化槽汚泥 処理の見通しがつき次第解体 撤去予定
	長和町汚泥再生処 理センター	長和町	標準脱窒素処理方 式	10kl/日	H30.3			浸水想定:0.5m~3m 対策⇒施設被災時は広域連携によるし尿処理継続 と、設備の早急な復旧を図る	

(2)更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設解体の有無 (解体施設の名称)	廃焼却施設解体事業 着手(予定)年月 完了(予定)年月	想定される浸水深と対策	プラスチック再商品化を実施 するための施設整備事業	備考
エネルギー回収型 廃棄物処理施設	統合クリーンセンター	上田地域広域連合	全連続燃焼式	144t/日	R11.1	集約・エネルギー高効率 回収	有 (上田クリーンセンター、 丸子クリーンセンター、東 部クリーンセンター)	未定		—	解体と一体として整備す る
有機性廃棄物リサ イクル推進施設(生 ごみ堆肥化施設)	上田市有機物リサイクル施設	上田市	未定	7.4t/日	R8	生ごみの資源化	無		浸水想定外	—	
最終処分場	最終処分場	上田地域広域連合	管理型処分場	85,000㎡	R14.3	広域化・既施設の容量限 界	無		浸水想定外	—	

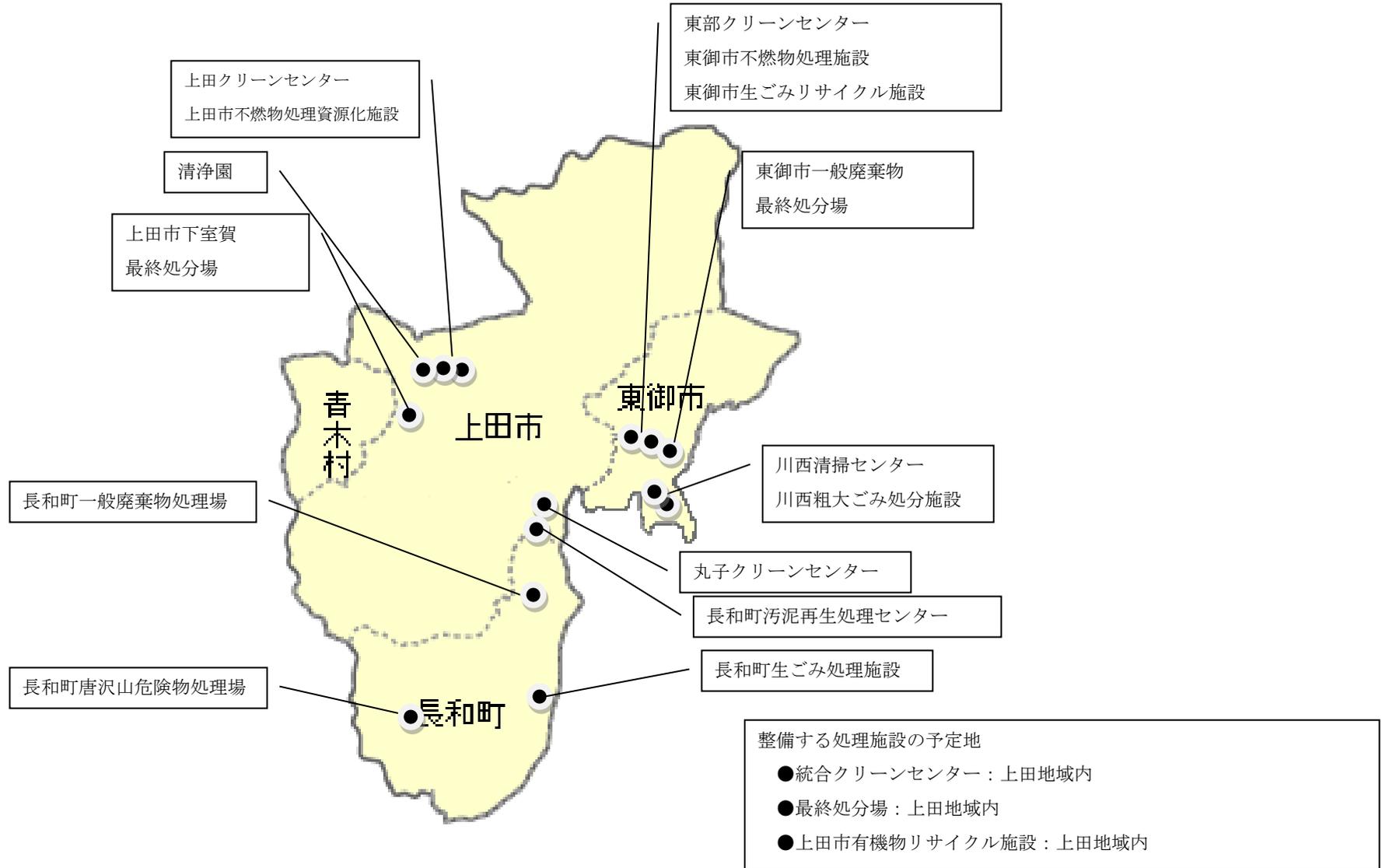
※ 現有施設の概要及び計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを参照。

4 生活排水処理の現状と目標（広域連合全体）

指標・単位	過去の状況・現状							目標
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 8 年度	
総人口	202,804	201,697	200,914	199,796	199,078	197,648	187,981	
公共下水道	汚水衛生処理人口	143,832	144,346	144,356	144,300	144,377	145,312	143,976
	汚水衛生処理率	70.9%	71.6%	71.9%	72.3%	72.5%	73.5%	76.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	33,002	32,938	32,637	32,374	32,046	30,423	24,113
	汚水衛生処理率	16.3%	16.3%	16.2%	16.2%	16.1%	15.4%	12.8%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	8,298	8,369	8,267	8,265	8,186	8,062	7,613
	汚水衛生処理率	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%
汚水衛生未処理人口	17,672	16,044	15,654	14,857	14,469	13,851	12,279	

※ 参考として指標と人口の要因に関するトレンドグラフを添付した。

地域内の施設の現況と予定（位置図）



循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模 単位	事業期間 ※5		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
				開始	終了	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度			
○エネルギー回収等に関する事業						1,540,000	0	0	0	0	1,540,000	1,540,000	0	0	0	0	1,540,000	
統合クリーンセンター整備事業	1	上田地域広 域連合	144t/日	R7	R7	1,540,000	0	0	0	0	1,540,000	1,540,000	0	0	0	0	1,540,000	全体事業: R7 ~R10
○有機性廃棄物リサイクル推進に関する事業						1,030,000	0	0	0	510,000	520,000	1,030,000	0	0	0	510,000	520,000	
上田市有機物リサイクル施設整備事業	2	上田市	7.4t/日	R6	R7	1,030,000	0	0	0	510,000	520,000	1,030,000	0	0	0	510,000	520,000	全体事業R6 ~R8
○最終処分に関する事業						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分場整備事業	3	上田地域広 域連合	85,000m ²			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	全体事業: R8 ~R10
○施設整備に関する計画支援事業						421,704	34,990	77,464	101,625	114,625	93,000	388,704	34,990	74,464	101,625	84,625	93,000	
(事業番号1)に係る計画支援事業	1	上田地域広 域連合		R2	R7	174,835	18,050	58,785	80,000	15,000	3,000	174,835	18,050	58,785	80,000	15,000	3,000	
(事業番号2)に係る計画支援事業	2	上田市		R3	R6	63,869	16,940	15,679	11,625	19,625	0	63,869	16,940	15,679	11,625	19,625	0	
(事業番号3)に係る計画支援事業	3	上田地域広 域連合		R4	R7	183,000	0	3,000	10,000	80,000	90,000	150,000	0	0	10,000	50,000	90,000	
合 計						2,991,704	34,990	77,464	101,625	624,625	2,153,000	2,958,704	34,990	74,464	101,625	594,625	2,153,000	

施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田地域広域連合
(2) 施設名称	(仮称) 上田地域広域連合統合クリーンセンター
(3) 工期	令和7年度【全体：令和7年度～令和10年度】
(4) 施設規模	処理能力 144 t/日 (48 t/日 × 3 炉)
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼式 (ストーカ焼却炉)
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> (発電効率 未定) ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> (熱利用率 未定) ・ 無
(7) 地域計画内の役割 ※1	上田地域における循環型社会形成推進施設としての位置づけ。施設の集約化、エネルギーの高効率回収・有効利用
(8) 廃焼却施設解体 工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 無

「ごみ燃料化施設」を整備する場合

(9) 燃料の利用計画	
-------------	--

「メタンガス化施設」を整備する場合

(10) バイオガス 熱利用率	kWh/ごみ t
(11) バイオガスの利用 計画	

(12) 総事業計画額	1,540,000千円【全体：11,520,000千円】 うち、交付対象事業費 1,540,000千円【全体：11,520,000千円】
-------------	---

※1 基幹的設備改修事業を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。また、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用する場合は、廃棄物処理施設で生じた熱や発電した電力を地域でどう利活用するかについても記載すること。

施設概要（有機性廃棄物リサイクル施設系）

都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田市
(2) 施設名称	(仮称) 上田市有機物リサイクル施設
(3) 工期	令和6年度 ～ 令和7年度 【全体：令和6年度～令和8年度】
(4) 施設規模	処理能力 7.4 t /日
(5) 形式及び処理方式	未定
(6) 地域計画内の役割	上田地域における循環型社会形成推進施設としての位置づけ。生ごみ資源化施設
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 

「ごみ堆肥化施設」を整備する場合

(8) 堆肥の利用計画	良質な有機堆肥として利用する計画。
-------------	-------------------

「ごみ飼料化施設」を整備する場合

(9) 飼料の利用計画	
-------------	--

(10) 総事業計画額	1,030,000千円【全体：1,676,900千円】 うち、交付対象事業費1,030,000千円【全体：1,676,900千円】
-------------	--

施設概要（最終処分場系）

都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田地域広域連合		
(2) 施設名称	（仮称）最終処分場		
(3) 工期	（次期計画）【全体：令和8年度～令和10年度】		
(4) 処分場面積、容積	総面積 未定	埋立面積 未定	埋立容積 85,000 m ³
(5) 処分開始年度 及び終了年度	埋立開始 令和11年度 埋立終了 令和26年度		
(6) 跡地利用計画	現段階では、未定。		
(7) 地域計画内の役割	上田地域における循環型社会形成推進施設としての位置づけ。地域内での循環社会の完結を図るため最終処分場を整備する。		
(8) 廃焼却施設解体工事 の有無	有 		
(9) 総事業計画額	【全体：2,720,000千円】 うち、交付対象事業費【全体：2,720,000千円】		

計 画 支 援 概 要

都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田地域広域連合				
(2) 事業目的	上田地域広域連合統合クリーンセンター整備のため				
(3) 事業名称	上田地域広域連合統合クリーンセンター（事業番号1）に係る環境影響評価事業	上田地域広域連合統合クリーンセンター（事業番号1）に係る施設基本計画策定事業	上田地域広域連合統合クリーンセンター（事業番号1）に係る測量・地質調査事業	上田地域広域連合統合クリーンセンター（事業番号1）に係る事業方式選定事業	上田地域広域連合統合クリーンセンター（事業番号1）に係る発注準備・入札支援事業
(4) 事業期間	令和2年度～ 令和5年度	令和3年度～ 令和4年度	令和2年度～ 令和5年度	令和4年度	令和6年度～ 令和7年度
(5) 事業概要	施設整備に当たっての環境影響評価業務	施設基本計画作成業務	計画地の測量調査及び地質調査業務	PFI導入調査	事業者選定アドバイザー業務
(6) 総事業計画額	174,835千円 うち、交付対象事業費174,835千円				

計 画 支 援 概 要

都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田市				
(2) 事業目的	<u>(仮称) 有機物リサイクル</u> 施設整備のため				
(3) 事業名称	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る測量調査事業	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る施設基本設計事業	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る生活環境影響調査事業	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る地質調査事業	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る要求水準書案作成事業
(4) 事業期間	令和3～4年度	令和3～4年度	令和3～4年度	令和4年度	令和4年度
(5) 事業概要	地形測量 用地測量	施設基本設計 PFI等導入可能性調査	生活環境影響調査	地質調査	要求水準書案作成

(1) 事業主体名	上田市				
(2) 事業目的	<u>(仮称) 有機物リサイクル</u> 施設整備のため				
(3) 事業名称	(仮称)上田市有機物リサイクル施設(事業番号2)に係る発注準備・入札支援事業				
(4) 事業期間	令和5～6年度				
(5) 事業概要	事業者選定アドバイザー業務				
(6) 総事業計画額	63,869千円 うち、交付対象事業費63,869千円				

計 画 支 援 概 要

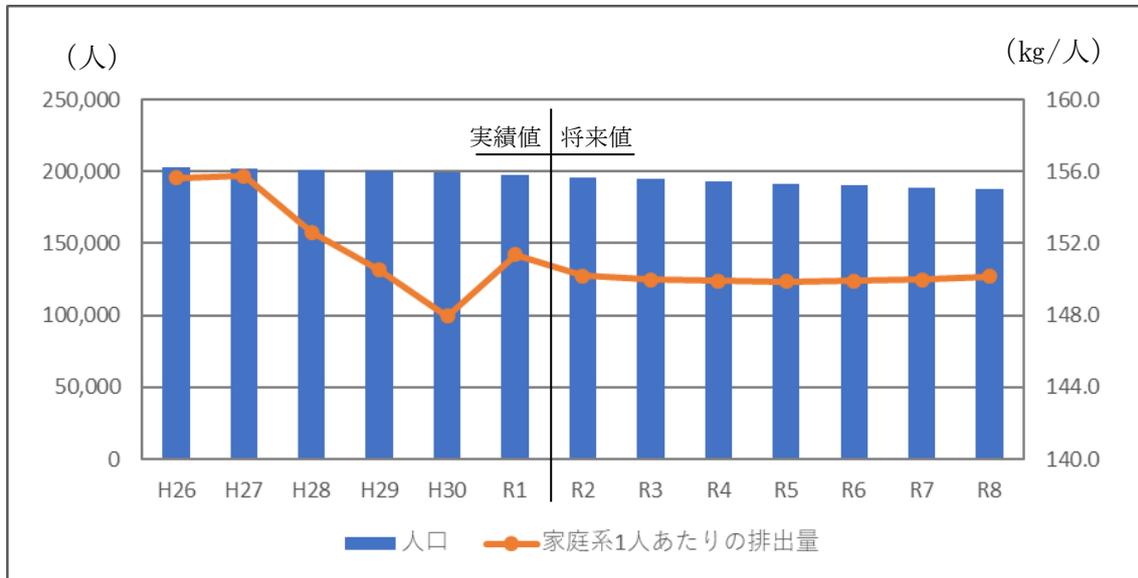
都道府県名 長野県

(1) 事業主体名	上田地域広域連合				
(2) 事業目的	上田地域広域連合最終処分場 施設整備のため				
(3) 事業名称	上田地域広域連合最終処分場 (事業番号3) に係る基本構想策定事業	上田地域広域連合最終処分場 (事業番号3) に係る測量・地質調査事業	上田地域広域連合最終処分場 (事業番号3) に係る測適地選定事業	上田地域広域連合最終処分場 (事業番号3) に係る基本設計・詳細設計等事業	上田地域広域連合最終処分場 (事業番号3) に係る生活環境影響調査事業
(4) 事業期間	令和4年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度 ～ 令和7年度	令和6年度
(5) 事業概要	基本構想策定業務	測量調査及び地質調査業務	建設候補地選定業務	基本設計、詳細設計、仕様書作成業務	生活環境影響調査業務
(6) 総事業計画額	183,000千円 うち、交付対象事業費150,000千円				

添 付 資 料 集

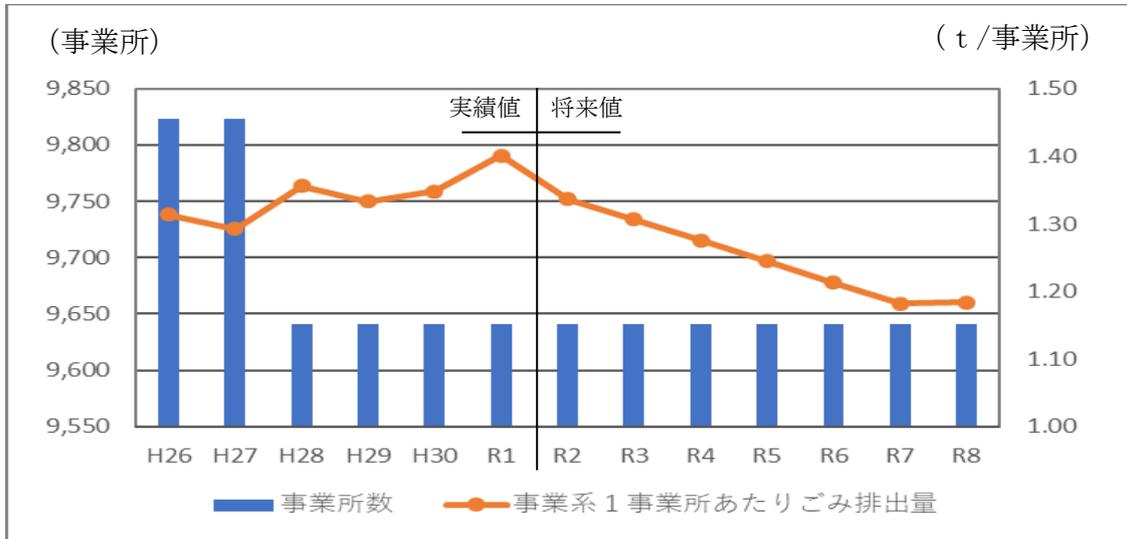
【添付資料1：人口、事業所数、ごみ量のトレンドグラフ】

人口、事業所数、1人あたりの家庭系ごみ排出量、1事業所あたりの事業系ごみ排出量、総資源化量、最終処分量のトレンドグラフを図1～図5に示す



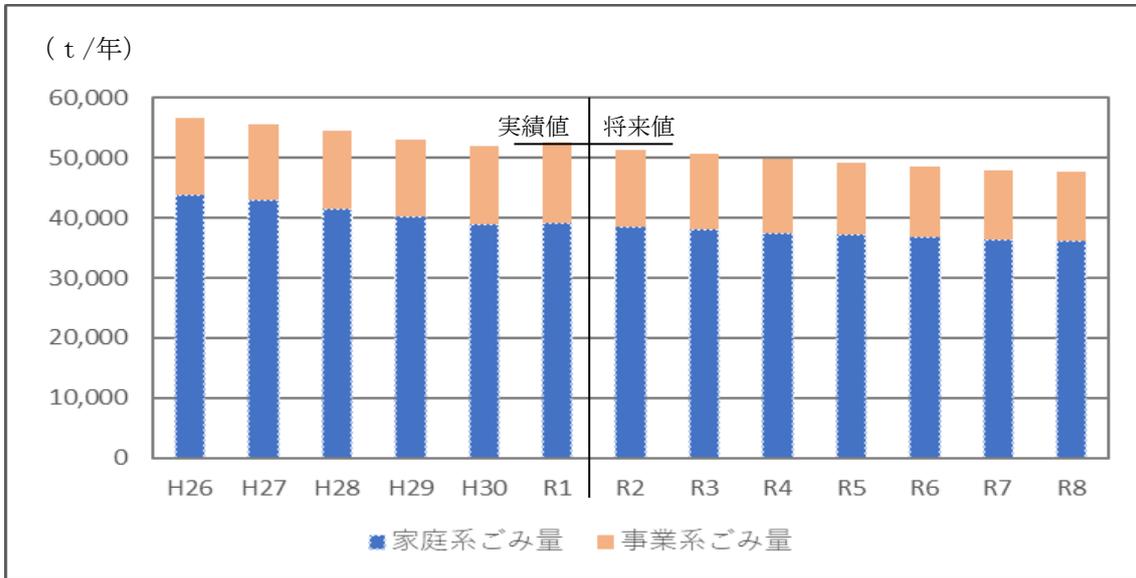
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全域	人口	202,804	201,697	200,914	199,796	199,078	197,648	195,945	194,535	193,125	191,715	190,305	188,892	187,981
	家庭系1人あたりの排出量	155.6	155.8	152.6	150.5	148.0	151.4	150.3	150.3	150.2	150.2	150.2	150.3	150.2
上田市	人口	160,513	159,769	159,325	158,657	158,265	157,143	155,722	154,706	153,690	152,674	151,658	150,641	149,930
	家庭系1人あたりの排出量	159.4	159.5	155.3	153.6	152.6	155.2	154.2	154.2	154.2	154.3	154.5	154.7	155.0
東御市	人口	30,983	30,805	30,666	30,437	30,261	30,112	29,967	29,723	29,479	29,235	28,991	28,745	28,656
	家庭系1人あたりの排出量	140.0	140.8	139.1	131.3	118.5	124.9	124.1	123.6	122.9	122.1	121.2	120.2	118.4
青木村	人口	4,626	4,595	4,541	4,455	4,399	4,376	4,347	4,295	4,243	4,191	4,139	4,086	4,055
	家庭系1人あたりの排出量	156.3	150.4	160.3	176.4	179.8	185.6	186.0	188.2	190.7	193.1	195.2	197.4	198.6
長和町	人口	6,682	6,528	6,382	6,247	6,153	6,017	5,909	5,811	5,713	5,615	5,517	5,420	5,340
	家庭系1人あたりの排出量	138.3	139.1	144.9	147.0	150.3	160.2	155.8	155.1	154.4	153.4	152.3	151.3	149.5

資料図-1 人口及び家庭系ごみ年間1人あたりの排出量



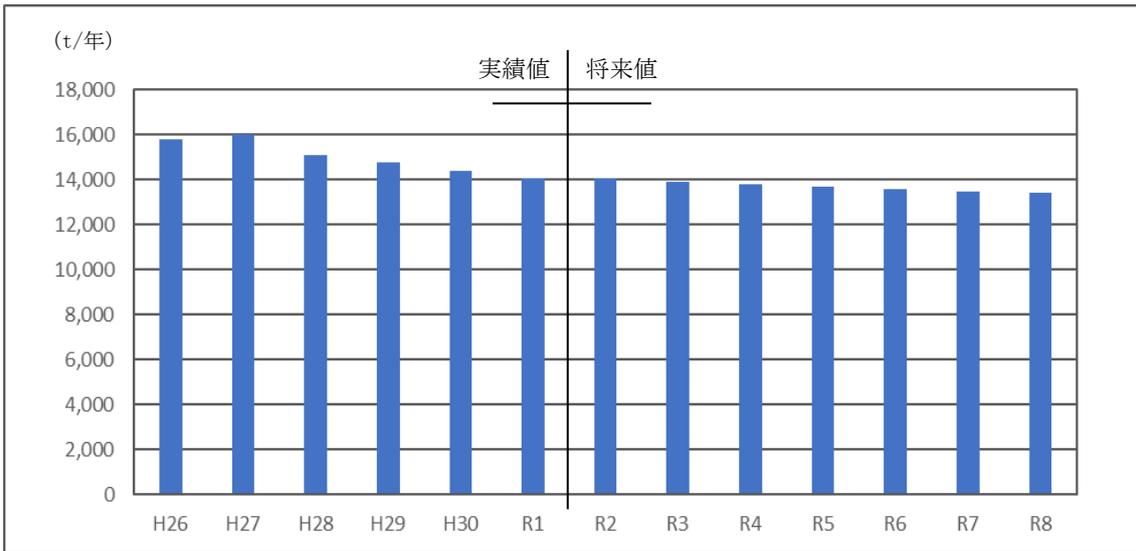
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全域	事業所数	9,823	9,823	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641
	事業系1事業所あたりごみ排出量	1.31	1.29	1.36	1.33	1.35	1.40	1.37	1.34	1.31	1.28	1.25	1.21	1.18
上田市	事業所数	7,909	7,909	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677	7,677
	1事業所あたりごみ排出量	1.45	1.43	1.55	1.54	1.58	1.63	1.59	1.56	1.52	1.48	1.45	1.41	1.37
東御市	事業所数	1,318	1,318	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413	1,413
	1事業所あたりごみ排出量	0.78	0.73	0.65	0.58	0.49	0.52	0.52	0.51	0.50	0.49	0.49	0.48	0.47
青木村	事業所数	194	194	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
	1事業所あたりごみ排出量	1.71	1.69	0.88	0.87	0.89	0.93	0.92	0.90	0.89	0.87	0.86	0.84	0.83
長和町	事業所数	402	402	371	371	371	371	371	371	371	371	371	371	371
	1事業所あたりごみ排出量	0.20	0.15	0.16	0.19	0.11	0.21	0.20	0.20	0.20	0.19	0.19	0.19	0.18

資料図-2 事業所数及び事業系ごみ年間1事業所あたりの排出量

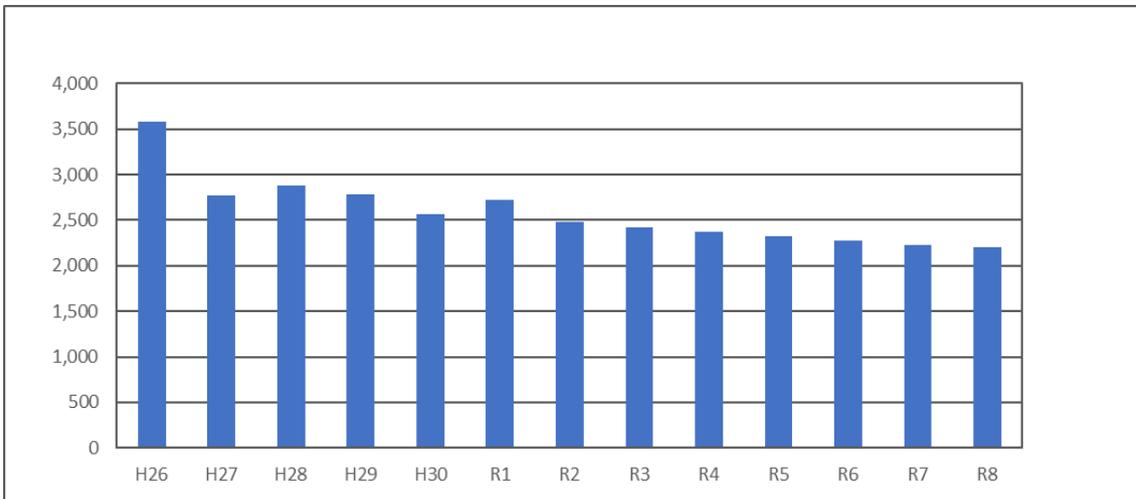


		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全域	家庭系ごみ量	43,830	43,016	41,462	40,169	39,025	39,081	38,531	38,066	37,638	37,237	36,858	36,498	36,202
	事業系ごみ量	12,904	12,694	13,073	12,855	12,998	13,506	13,208	12,908	12,610	12,311	12,013	11,713	11,414
	総計	56,734	55,710	54,535	53,024	52,023	52,587	51,739	50,974	50,248	49,548	48,871	48,211	47,616
上田市	家庭系ごみ量	35,194	34,536	33,160	32,253	31,642	31,515	31,078	30,727	30,411	30,123	29,858	29,611	29,429
	事業系ごみ量	11,463	11,345	11,931	11,815	12,103	12,524	12,239	11,954	11,669	11,384	11,099	10,814	10,529
	総計	46,657	45,881	45,091	44,068	43,745	44,039	43,317	42,681	42,080	41,507	40,957	40,425	39,958
東御市	家庭系ごみ量	6,172	6,072	5,847	5,453	4,953	5,105	5,021	4,936	4,851	4,766	4,681	4,596	4,511
	事業系ごみ量	1,029	961	922	814	692	738	728	718	708	698	688	678	668
	総計	7,201	7,033	6,769	6,267	5,645	5,843	5,749	5,654	5,559	5,464	5,369	5,274	5,179
青木村	家庭系ごみ量	912	869	891	938	936	947	943	939	936	933	929	925	921
	事業系ごみ量	332	328	159	157	161	167	165	162	160	157	155	152	149
	総計	1,244	1,197	1,050	1,095	1,097	1,114	1,108	1,101	1,096	1,090	1,084	1,077	1,070
長和町	家庭系ごみ量	1,552	1,539	1,564	1,525	1,494	1,514	1,489	1,464	1,440	1,415	1,390	1,366	1,341
	事業系ごみ量	80	60	61	69	42	77	76	74	73	72	71	69	68
	総計	1,632	1,599	1,625	1,594	1,536	1,591	1,565	1,538	1,513	1,487	1,461	1,435	1,409

資料図-3 家庭系・事業系ごみの排出量



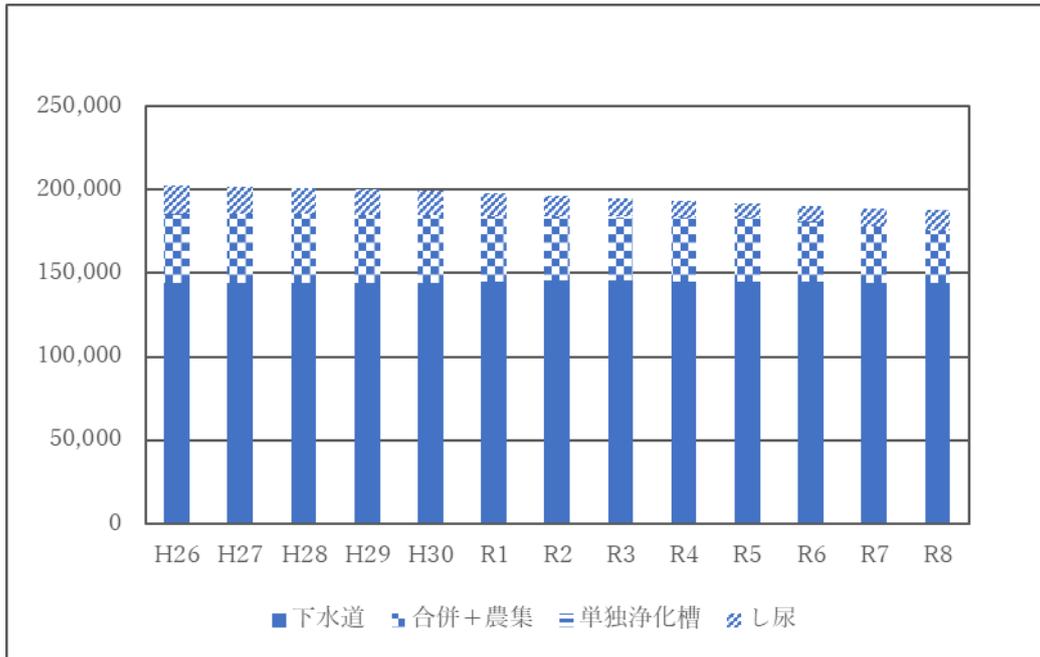
資料図-4 総資源化量トレンドグラフ



資料図-5 最終処分量トレンドグラフ

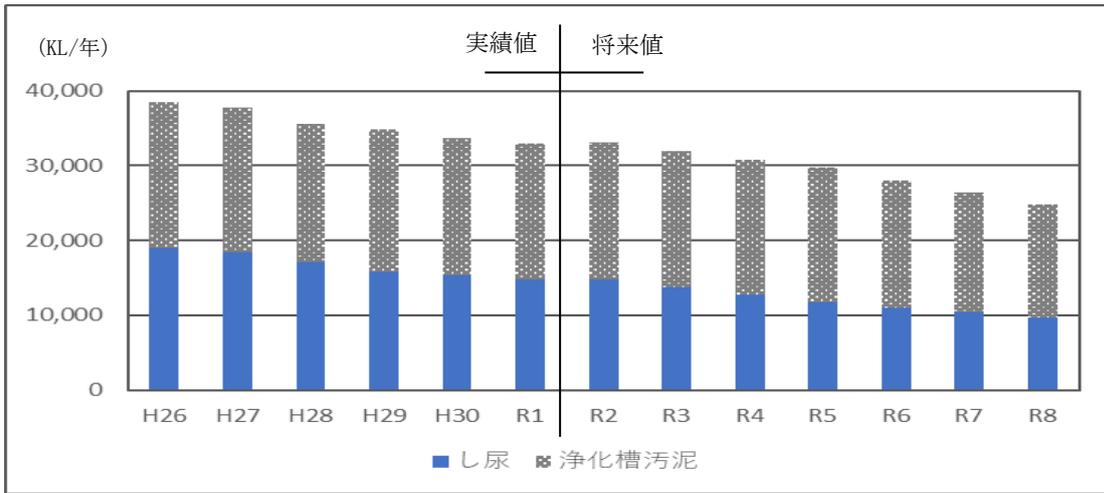
【添付資料2：生活排水処理人口及び生活排水処理量等のトレンドグラフ】

排水処理形態別人口及び、し尿・浄化槽汚泥排出量のトレンドグラフを資料図6～図8に示す。



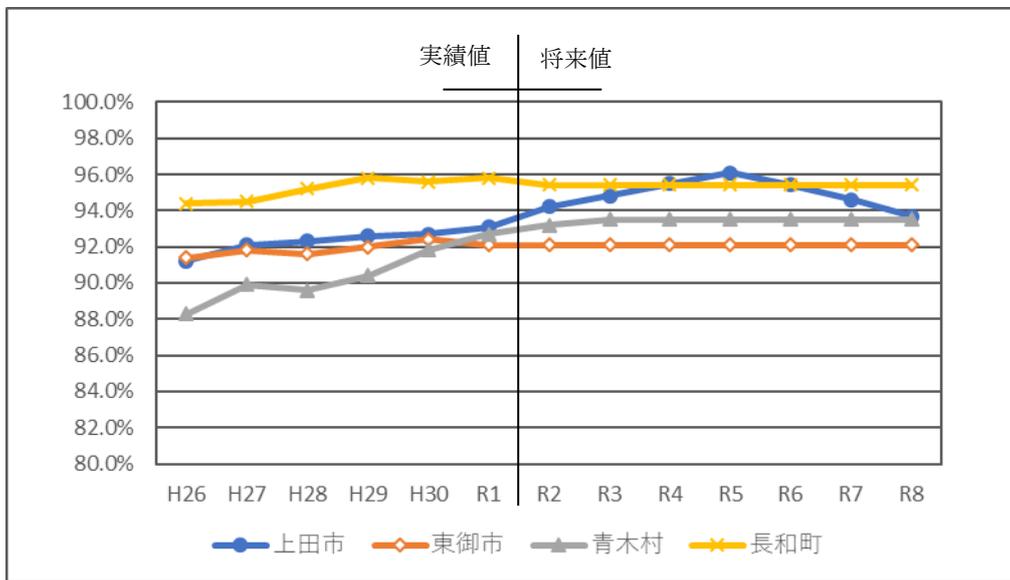
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全域	下水道	143,832	144,346	144,356	144,300	144,377	145,312	145,534	145,417	145,284	145,146	144,721	144,286	143,976
	合併+農集	41,300	41,307	40,904	40,639	40,232	38,485	38,443	38,218	37,992	37,762	35,735	33,705	31,726
	単独浄化槽	294	296	206	199	189	189	183	181	177	176	174	171	170
	し尿	17,378	15,748	15,448	14,658	14,280	13,662	11,785	10,719	9,672	8,631	9,675	10,730	12,109
	総計	202,804	201,697	200,914	199,796	199,078	197,648	195,945	194,535	193,125	191,715	190,305	188,892	187,981
上田市	下水道	116,303	117,042	117,318	117,407	117,570	117,428	117,834	117,990	118,141	118,287	118,146	117,996	117,839
	合併+農集	30,128	30,029	29,726	29,527	29,148	28,820	28,859	28,715	28,571	28,425	26,480	24,534	22,589
	単独浄化槽	164	164	164	163	153	153	147	145	142	141	139	137	136
	し尿	13,918	12,534	12,117	11,560	11,394	10,742	8,882	7,856	6,836	5,821	6,893	7,974	9,366
	総計	160,513	159,769	159,325	158,657	158,265	157,143	155,722	154,706	153,690	152,674	151,658	150,641	149,930
東御市	下水道	17,804	17,781	17,636	17,626	17,628	18,804	18,713	18,561	18,409	18,256	18,104	17,950	17,895
	合併+農集	10,502	10,498	10,439	10,369	10,340	8,926	8,883	8,811	8,739	8,666	8,594	8,521	8,495
	単独浄化槽	130	132	42	36	36	36	36	36	35	35	35	34	34
	し尿	2,547	2,394	2,549	2,406	2,257	2,346	2,335	2,315	2,296	2,278	2,258	2,240	2,232
	総計	30,983	30,805	30,666	30,437	30,261	30,112	29,967	29,723	29,479	29,235	28,991	28,745	28,656
青木村	下水道	3,778	3,823	3,811	3,770	3,781	3,802	3,806	3,771	3,725	3,680	3,634	3,588	3,560
	合併+農集	309	309	257	257	259	255	246	245	242	239	236	233	231
	単独浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	し尿	539	463	473	428	359	319	295	279	276	272	269	265	264
	総計	4,626	4,595	4,541	4,455	4,399	4,376	4,347	4,295	4,243	4,191	4,139	4,086	4,055
長和町	下水道	5,947	5,700	5,591	5,497	5,398	5,278	5,181	5,095	5,009	4,923	4,837	4,752	4,682
	合併+農集	361	471	482	486	485	484	455	447	440	432	425	417	411
	単独浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	し尿	374	357	309	264	270	255	273	269	264	260	255	251	247
	総計	6,682	6,528	6,382	6,247	6,153	6,017	5,909	5,811	5,713	5,615	5,517	5,420	5,340

資料図-6 処理形態別人口トレンドグラフ



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
し尿	19,044	18,364	17,088	15,856	15,314	14,758	14,759	13,737	12,722	11,741	11,051	10,402	9,723
浄化槽汚泥	19,497	19,458	18,436	18,950	18,316	18,237	18,315	18,197	18,091	18,019	17,026	16,065	15,132
合計	38,541	37,822	35,524	34,806	33,630	32,995	33,074	31,934	30,813	29,760	28,077	26,467	24,855

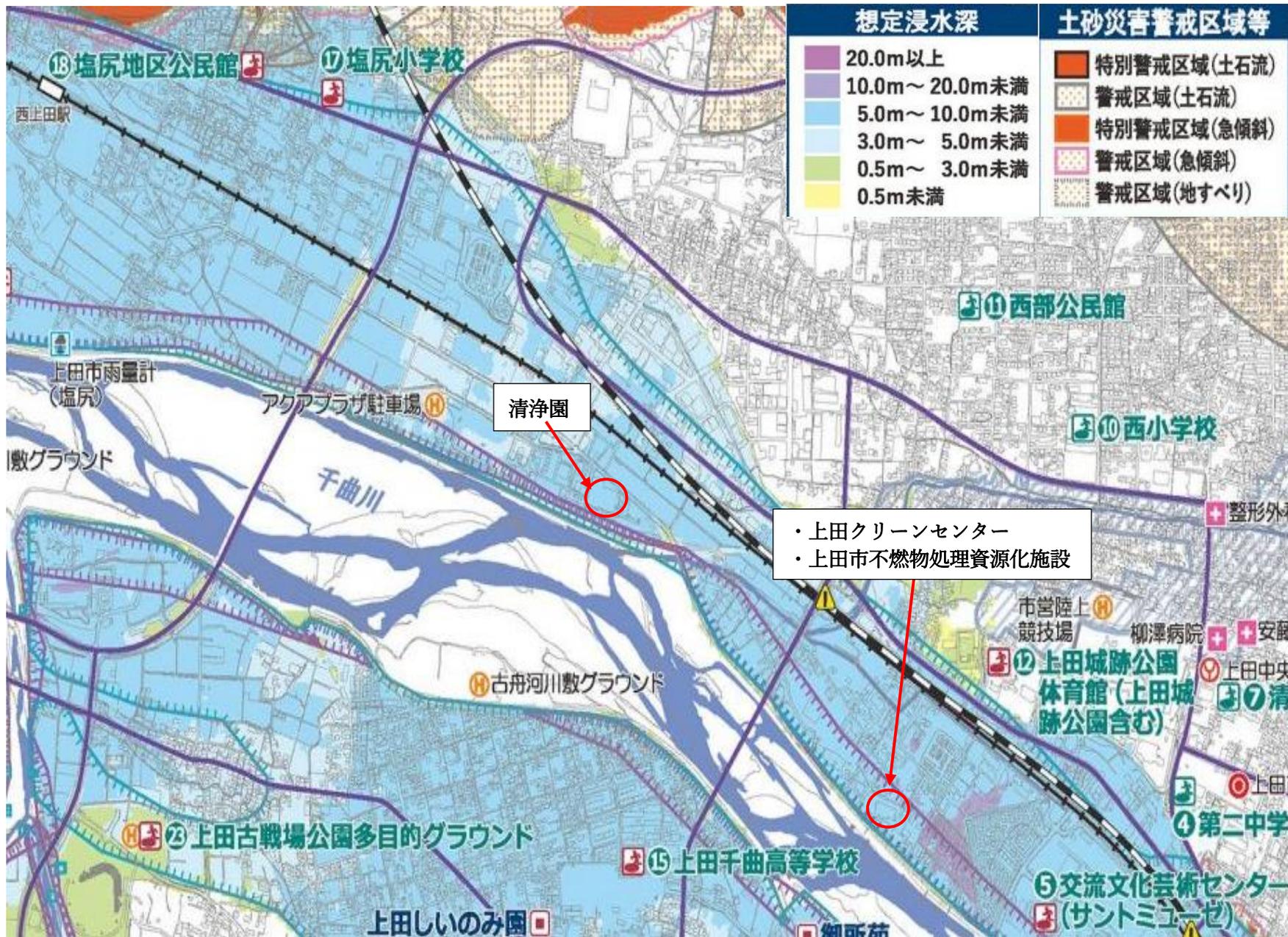
資料図-7 し尿及び浄化槽汚泥発生量トレンドグラフ



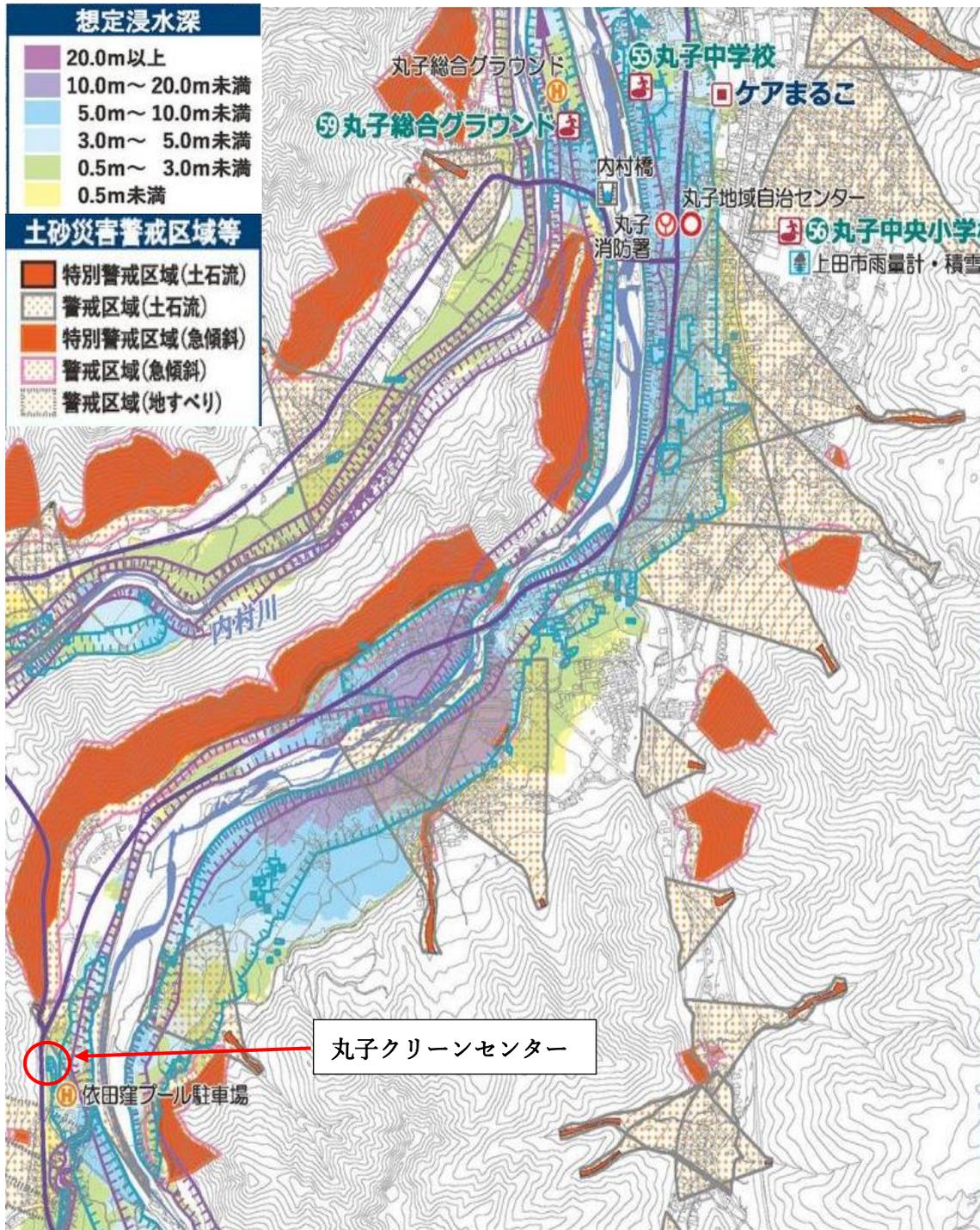
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全域	91.3%	92.0%	92.2%	92.6%	92.7%	93.0%	93.9%	94.4%	94.9%	95.4%	94.8%	94.2%	93.5%
上田市	91.2%	92.1%	92.3%	92.6%	92.7%	93.1%	94.2%	94.8%	95.5%	96.1%	95.4%	94.6%	93.7%
東御市	91.4%	91.8%	91.6%	92.0%	92.4%	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%
青木村	88.3%	89.9%	89.6%	90.4%	91.8%	92.7%	93.2%	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%
長和町	94.4%	94.5%	95.2%	95.8%	95.6%	95.8%	95.4%	95.4%	95.4%	95.4%	95.4%	95.4%	95.4%

資料図-8 汚水衛生処理率トレンドグラフ

災害ハザードマップ（清浄園、上田クリーンセンター）



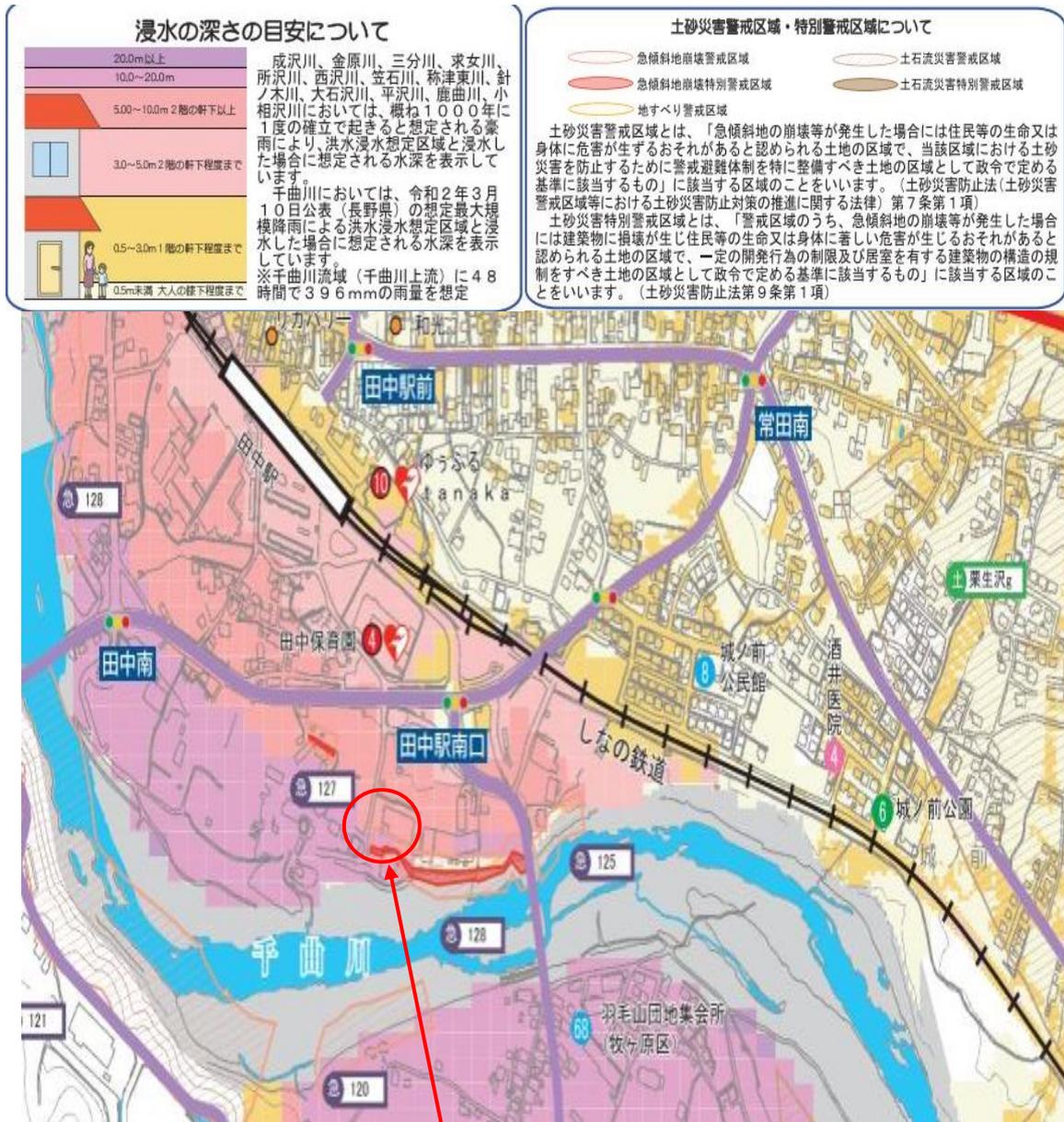
災害ハザードマップ (丸子クリーンセンター)



災害ハザードマップ（東御市一般廃棄物最終処分場）

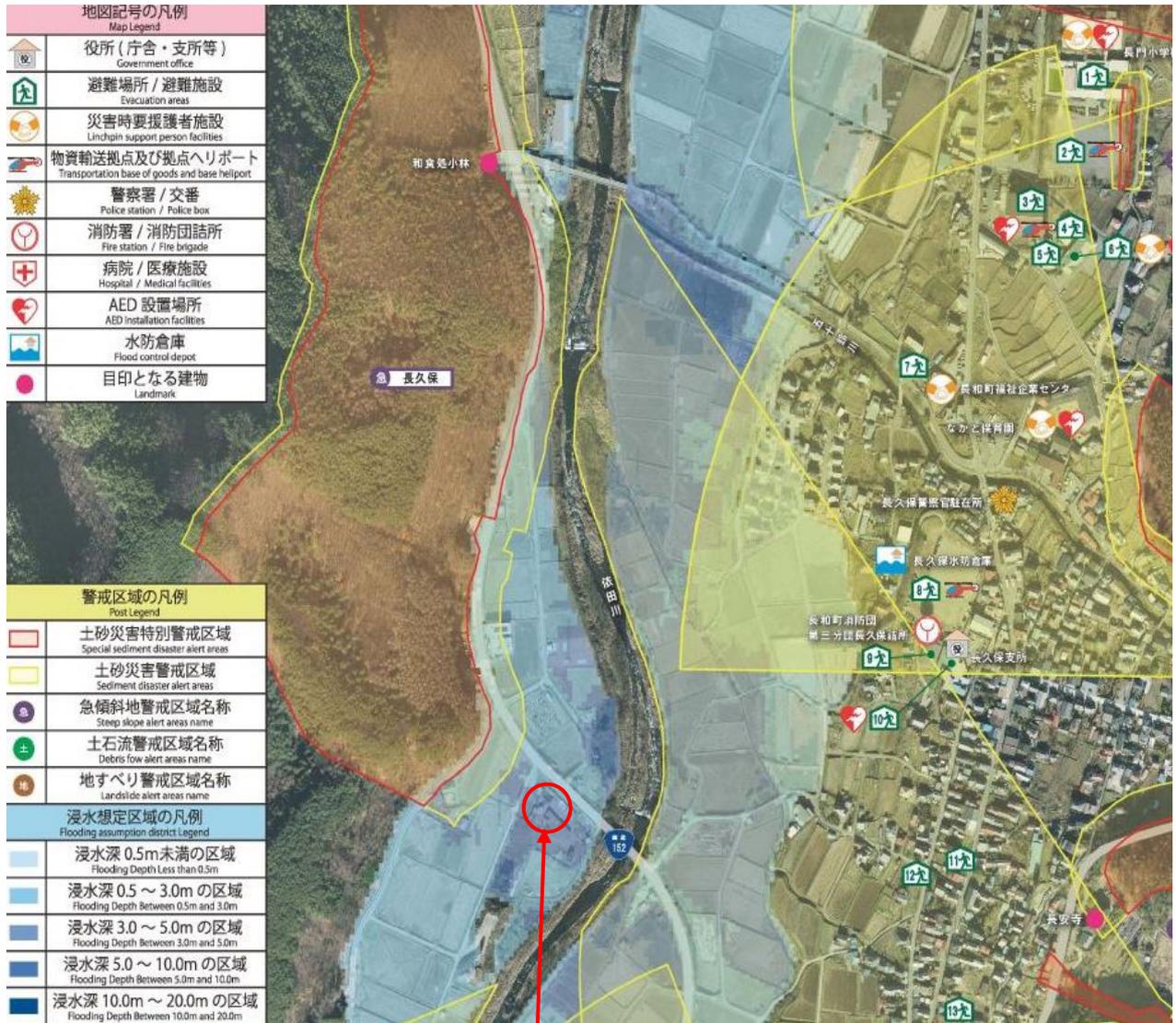


災害ハザードマップ（東部クリーンセンター、東御市不燃物処理施設、東御市生ごみリサイクル施設）



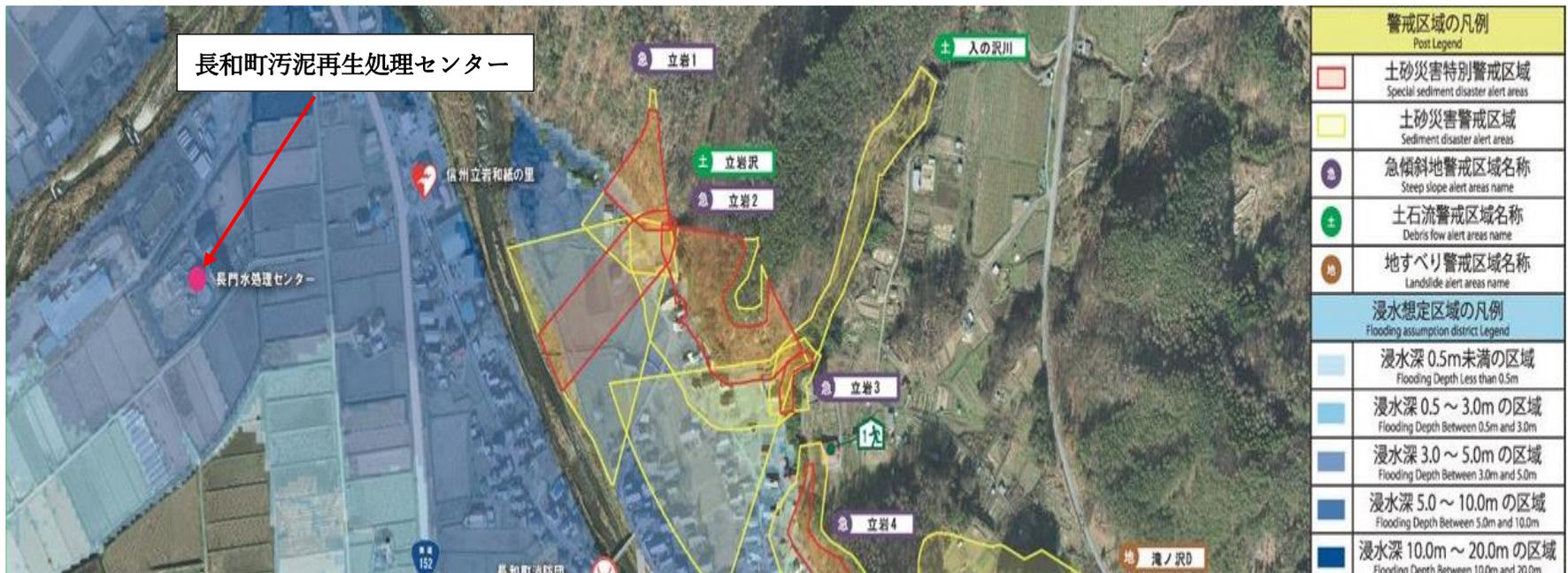
- ・東部クリーンセンター
- ・東御市不燃物処理施設
- ・東御市生ごみリサイクル施設

災害ハザードマップ（長和町一般廃棄物処理場）

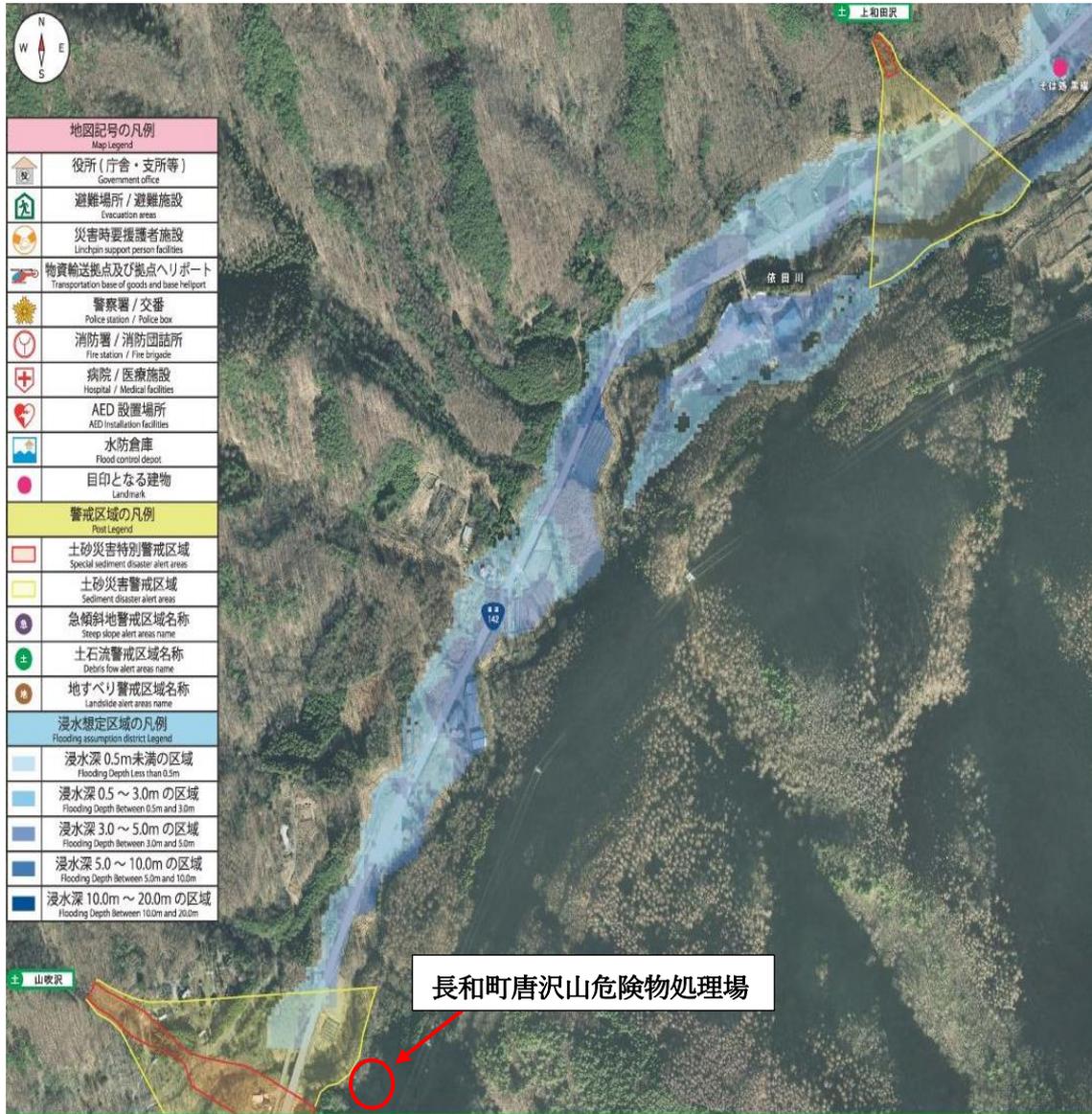


長和町一般廃棄物処理場

災害ハザードマップ（長和町汚泥再生処理センター）



災害ハザードマップ（長和町唐沢山危険物処理場）



上田市国土強靱化地域計画

令和3年12月

上 田 市

- ・新型インフルエンザなどの強毒性の感染症による健康被害と社会的影響を最小限にとどめるために、国・県をはじめ関係団体との連携体制を構築するとともに、日常生活における感染症予防や感染症に対する正しい知識の普及・啓発に努めます。

○医療従事者の確保 「再掲」

- ・医師確保修学資金等貸与制度、上田地域広域連合が実施する信州上田医療センター初期研修医養成支援事業などにより、安定的な医師確保体制の整備と充実を図ります。
- ・医師会などの関係機関と協力し、地域の医療機関などに勤務する看護職の確保を図ります。

○指定避難所における感染対策の充実

- ・指定避難所における感染症対策として、新型コロナウイルス感染症の流行等を踏まえて指定避難所運営マニュアルを更新するとともに、間仕切りパーテーション等の防災用資器材を備蓄します。

6-6 大規模地震後の洪水発生等複合災害による被害の拡大

○災害対応能力の向上と危機管理体制の強化 「再掲」

- ・災害時に国などからの広域的な支援をスムーズに受け入れるために、受援体制の整備を進めます。
- ・大規模災害などに備えて、災害時応援協定に基づくほかの自治体との相互応援体制のさらなる強化を進めます。

目標 7. 被災した方々の日常生活が迅速に戻ることに

7-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態

○資源循環型施設の早期建設

- ・環境に配慮した安全・安心な資源循環型施設（統合クリーンセンター）を建設し、発生したエネルギーの循環活用による防災拠点として活用します。

○災害廃棄物処理計画の策定

- ・災害時の迅速かつ円滑な災害廃棄物処理のため、災害廃棄物の仮置き場候補地や処理方法、関係機関等との連携体制などについて事前に定め、災害廃棄物処理計画を策定します。